

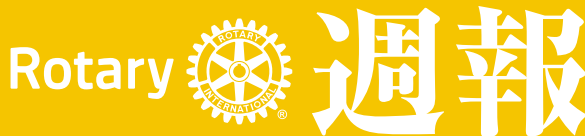
2022-2023年度国際ロータリーのテーマ



2022-2023年度国際ロータリー第2690地区のスローガン
ロータリーの素晴らしさを体感しよう!

2022-2023年度岡山北ロータリークラブのスローガン
新たな道

2022~2023年度 Rotary Club of Okayama North



国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4F
TEL.(086) 222-9590・222-0384 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2022.7~2023.6

会長(理事) 廣野景治
副会長(理事) 皆木英太郎
幹事(理事) 中杉山本
副幹事 杉山本
会計 山本
S.A.A.(理事) 牧本
副S.A.A. 宮井

会員増強・退会防止(理事) 高島浩
広報(理事) 永山雅己
奉仕プロジェクト(理事) 馬場幸
ロータリー財団(理事) 谷本三章
親睦活動プログラム 高橋茂樹
直前会長 杉山康達
次期会長 岸本達也

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「地区研修・協議会の報告」
2023~2024年度

会長 岸本達也 会員
幹事 永島雅己 会員
職業奉仕委員長代理 磯井宏 会員
社会奉仕委員長 宮本太 会員
国際奉仕委員長 牧武 会員
青少年奉仕委員長代理 武南浩 会員

次回5月16日のプログラム

「会場移動夜間例会」

5月のお祝い行事

会員誕生日：橋田、宮武、難波、武南君
結婚記念日：磯島(慈)、三宅、内座、双田、角南、谷本君

前回4月18日の例会記録

出席の状況

会員数 50名 (出席免除者0名)
出席者数 32名
欠席者数 18名
出席率 64.00%

4月ホームクラブ平均出席率 64.67%



岡山西南・岡山岡南RC担当
事務局員 松永里緒菜さん

スケジュール

5月 青少年奉仕月間

16日(火) 19:00~例会：会場移動夜間例会
23日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
30日(火) 12:30~例会

6月 ロータリー親睦活動月間

6日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
13日(火) 12:30~例会：
13:40~第12回理事役員会
20日(火) 12:30~例会：退任挨拶
13:40~被選理事会
27日(火) 12:30~例会：退任挨拶



ポール・ハリス・フェローの廣野会長

本日のメニュー：和食

次回のメニュー：ミリオンダラーミール (洋食)

会長挨拶



前回例会は今年度2回目のオンライン参加となりました。皆木副会長、カンボジアへの渡航期間、そして前回例会での会長代理ありがとうございました。

2月から始まった今年度の奉仕プロジェクトも理事会での報告を残し、終了いたしました。皆様のご理解と御協力に感謝申し上げます。

今日は後ほど、谷本さん、堀川さんとカンボジアの奉仕プロジェクトについて報告をさせていただきます。

来週から大型連休がスタートするということで、2回例会が無く、次回は5/9となりますが、これからは、今年度の活動方針に掲げております会員増強、そして、創立55周年に向けての準備を進めなければなりません。

51名でスタートした会員数も武内さんと川本さんが退会されて、山本宣良会員の復会で50名となっています。来年のスタートまで、最低2名の入会が必要です。皆様の協力をよろしくお願いいたします。



出席報告

幹事報告

1. 4月16日（日）くにびきメッセにおいて「地区研修・協議会」が開催され、次期会長、次期幹事をはじめ6名の皆様が出席されました。
2. ロータリー財団より廣野会長にポール・ハリス・フェローの認定状及び襟ピンが届いております。
3. 次週4月25日（火）の例会は、定款第7条第1節により、取消しとなっておりますので、お間違いのないようお願いいたします。
4. 次年度委員会編成表、会員名簿校正依頼、活動計画書原稿依頼を配付しておりますので、よろしくお願いいたします。
5. ロータリーの友4月号を配付しております。
6. ハイライトよねやま Vol.277、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

廣野君：カンボジアでの活動報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

伊藤君：廣野会長 谷本会員 堀川会員おかえりなさい。

岸本君：本日、次年度の組織図を配布いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

谷本君：本日、カンボジアの報告をさせていただきます。

馬場君：廣野会長、谷本さん、堀川さん カンボジアお疲れ様でした。お話をじっくりお聞きしたいところですが、早退させていただきます。

吉田君：伊藤さん、歯のPRありがとうございました！皆さま 健口第1です。

宮井君：廣野会長、谷本さん、堀川さん カンボジアの報告、楽しみにしています。

先の日曜 初の地区研修・協議会に松江に行ってきました。急遽、前々日に行くことになった武南さんに行き帰り運転していただきました。ありがとうございました。

牧本君：廣野会長・谷本会員・堀川会員、カンボジアでの奉仕事業おつかれ様でした。来年度は、国際奉仕委員長として私もカンボジアを訪問したいと思います。



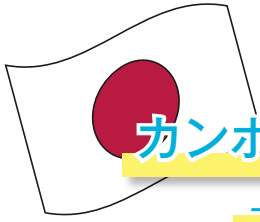
4月18日「よい歯の日」にスマイルの吉田会員



「ロータリーの友4月号」の紹介堀川洋子会員



スマイル



カンボジア国への国際奉仕プロジェクト報告 (2023.4.5~4.8)



—環境教育のための分別ゴミ箱の設置と標語の看板設置—

会長 廣野景治 会員
 ロータリー財団 常任委員長 谷本章 会員
 会報委員会 副委員長 堀川洋子 会員



【4月5日（水）】

06：01の始発のぞみに乗って関空へ。ベトナム航空を使い、ホーチミン経由でカンボジアの首都プノンペンに16：55着。日本が2時間早い時差です。

プノンペンで夕食を取り、専用車で約1時間かけてコンポンスプー州のホテルへ。



関空より出発



プノンペンに到着



相引さん



プノンペンのレストランで



地ビール



プノンペンの帰宅ラッシュ



PALM RIVER ホテル



【4月6日（木）】

朝食後、涼しい朝の内に通訳のサラッさんの家でゴミ箱への分別シール貼り。

昼食後に来年の設置候補地の小学校を視察、先生方との対談。今回唯一の観光地ミニアンコールワットを見学し、ホテル近くのレストランで交流会を開催。



迎春



分別ゴミシール貼り作業スタート



ゴミの分別標語看板



作業終了、汗だくです



小学校の先生方と
(廣野会長の向かって左隣が校長先生、右隣が副校長先生)



小学校視察



福島県二本松RCから寄贈された小学校のトイレ



先生との対談



ヤシの実ジュースをいただきました



朝食（レタスの虫注意）



フランス式の信号の無いロータリー



ミニアンコールワットの観光



ミニアンコールワット内

【4月7日（金）】

車で約1時間移動し、キリモニカオセイ寺で贈呈式を開催。お寺の僧侶、地元の小学生とお寺の檀家さん達の約100名が参加。120Lのゴミ箱を17台、50Lを8台寄贈。僧侶には環境教育の大切さを理解していただき、集まってくれた檀家の大人や小学生の子供たちに、寄贈した分別ゴミ箱の説明、大人達が手本となって欲しいと環境教育の話をしました。御礼に感謝状をいただき、酷暑の中、ゴミ箱を寄贈した小学校やお寺を見学し、お寺での昼食会の後に帰途に。途中でサラッさんの実家に立ち寄りおいしいマンゴーを食し、プノンペン空港にチェックイン。

17：45に出発し途中でラオス・ビエンチャンで乗客が乗り代わり、ハノイに21：30着。乗り換えて00：30に出発。約4時間20分のフライト中に夕食もあり、ほとんど寝られない状況。06：40関空に無事に着き岡山へ。お疲れ様でした。



ゴミ箱の贈呈



感謝状をいただきました



僧侶との挨拶



環境教育の話を



小さな子ども

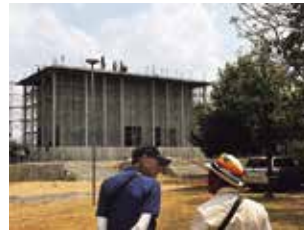




お寺の迎春飾りの前で



小学校視察



お寺の見学



お寺の調理場



お土産のきびだんごを



交流会



昼食会



看板設置



大量のゴミ



痩せた牛が（牛ファンに気をつけましょう）



お葬式の行列に遭遇



お葬式に向かう僧侶



サラッさんの実家でマンゴーをいただきました。



サラッさんの息子さんと

【宿 泊 先】 PALM RIVER HOTEL

【寄贈先のお寺】 Kompong Speu (コンボンスプー州)、Tporng District、Brambei Mum Commune、Tropaing Trok Village、Kirimonikorsei Pagoda (キリモニカオセイ寺)

追記：通訳のサラッさんから、NGOのメンバーとして活動するきっかけのお話を聞きました。日本に3年の留学経験があり、亡くなった安倍首相がカンボジアを訪れた時の報道で、「日本の街並みは、なぜあのようにきれいなのか」という問いに対して「教育です」の一言が大変印象に残っているとのお話をいただきました。

この環境教育が広まるのは、おそらく数十年かかると思いますが、視察も含めて意義あるカンボジア訪問の国際奉仕事業でした。

カンボジアの近年の歴史

メコン川の流域に栄えてきたアンコール王朝は、15世紀になるとタイの攻撃を受け、王都を移すなど衰退を始め、19世紀にフランスの植民地となる。

1953年独立。シハヌーク王の体制が始まる。

1975年4月北ベトナムの支援を受けてクメール・ルージュ派（後のポル・ポト）は、首都プノンペンを陥落。プノンペン市民は、強制退去をさせられ、農村部の強制集団キャンプに送られた。1975年から1978年までの間に殺害されたり、飢餓や重労働で死亡した人数は、およそ300万人とも言われている。

1978年ポル・ポト派の軍参謀長フン・センらが、ベトナムに亡命、ベトナム軍を先導してプノンペンへ進攻。ポル・ポトはプノンペンを放棄して逃げ去る。1979年1月新政権が誕生し、フン・センが新首相となり、現在も首相。新政権が樹立されたものの、カンボジアの国内には4つの勢力が対立したまま残されていた。

1990年6月に、紛争当事者による東京会議が行われ、先の4つのグループによる「カンボジア最高国民評議会（SNC）」の設置を合意。1991年1月にシハヌークがSNCの議長となる。1993年3月には日本人の明石康氏が代表を務める国連のUNTACがカンボジアで活動を開始し、初の選挙による国民議会を作ること成功。国民議会の設立により、内戦続きだったカンボジアに平和が訪れた形になったが、この年の5月にカンボジアで岡山県警の高田警視正が武装集団に襲われ殉職された。

